

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

頸部神経鞘腫手術におけるフロシール[®]の効果

1. 研究の対象および研究対象期間

2014 年 10 月 1 日から 2025 年 11 月 15 日に昭和医科大学病院で頸部神経鞘腫の手術を行った患者さん

2. 研究目的・方法

昭和医科大学病院では頸部神経鞘腫の患者さんに対して被膜間摘出術を行っています。術後の神経脱落症状を減少させる目的で腫瘍を摘出した神経上膜内の止血目的に局所的な出血を止めるための吸収性止血剤であるフロシール[®]を使用しています。本研究では、診療録情報を用いて、この方法が神経脱落症状の減少に寄与する可能性について検討します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、神経鞘腫の発生部位、由来神経、診断契機、病期期間、腫瘍の最大径、腫瘍の局在、術前診断（術前予測由来神経、穿刺吸引細胞診）と術後診断、術前症状、術後症状、手術時間、出血量、その他合併症とします。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学病院 耳鼻咽喉科 氏名 嶋根俊和

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座

氏名：嶋根俊和

住所：：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 03-3784-8563